

学校名	埼玉県立常盤高等学校
-----	------------

平成 26 年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール 事業計画書

I 委託事業の内容

1. 研究開発課題名

5 年一貫教育の特徴を生かした、看護専門職者を育成するための先進的なプログラムの研究開発

～「豊かな人間性」「確かな知識・技術」「科学的思考・判断力」と「生涯学び続ける力」を育てるために～

2. 研究の目的

本校では、時代が求める看護専門職者にとっての必要な力を、『人間性』『実践能力』『研究能力』とそれらの力を十分に活用し具体的な行動につなげる力（コンピテンシー）と考えている。

そこで本研究では「豊かな人間性」「確かな知識・技術」「科学的思考・判断力」と「生涯学び続ける力」の育成をテーマとして取組み、生涯にわたって看護の専門性を追求し続ける力を持った看護専門職者を育てることを目的とする。

3. 実施期間

契約日から平成 27 年 3 月 13 日まで

※ 最長で当該年度の 3 月 15 日（3 月 15 日が行政機関の休日に当たる場合は直前の開庁日）まで

4. 当該年度における実施計画

高度化する医療に対応しうる看護実践能力と研究能力を備えた人材を育成することは、「看護専門職者」を養成する本校の使命である。現在本校では、高等学校普通教育及び看護に関する専門教育を通して調和のとれた人格の完成をめざすとともに、確かな知識・技術を修得させ、地域社会の保健衛生の充実、発展に貢献し得る優秀な看護職者を養成することを教育目標として教育活動を行っている。卒業生の進路の状況として、看護師国家試験の合格率はほぼ 100% であり、ほぼ全員が県内に就職し地域医療に貢献している。

今回の研究では、広い視野に立った看護観を育てることを目指した「豊かな人間性」、臨床に即した看護実践能力を育てることを目指した「確かな知識・技術」、看護の探究、研究的態度を養うことを目指した「科学的な思考・判断力」の育成をテーマとして取組み、「生涯学び続ける力」を育て、生涯にわたって看護の専門性を追求し続ける力を持った看護専門職者を育てることを目的としている。

この研究を成功させるため、全教員が上記 4 つのいずれかの研究に携わり、社会の要請に応えられる専門職の育成を目指し、評価・修正しながら以下のように研究を進めていく。

(1) 「豊かな人間性」を育てる取組

○ねらい

ボランティア活動等を通して奉仕の心を育て、命の大切さについて考える豊かな人間性を養うとともに、自律した思考に基づいた倫理的な判断力を持ち、広い視野に立った看護観の確立を目指す。

○方法

- ①高校1年生：倫理に関する活動・講演会
- ②専攻科1年生：ライフステージからみた生命倫理に関する授業
- ③専攻科1年生：ボランティア活動
- ④高校3年生・専攻科1年生：被災地ボランティア
- ⑤高校3年生 接遇に関する講演会：接遇の講演を行っている業者に依頼し、実施する。
- ⑥専攻科2年生 他業種の専門家による講演会：他業種の視点からみた医療などに関する講演会を実施する。

(2) 「確かな知識・技術」を育てる取組

1) 「デジタルコンテンツを用いたe-ラーニングによる授業の開発」

○ねらい

コンピュータやインターネットなどの情報通信技術の発展を受けて、デジタルコンテンツを用いたe-ラーニングによる授業を展開し、生徒の看護知識・技術への一層の興味関心を高め、理解の深化とICT活用能力向上を図る。

○方法

- ①高校1年生・2年生「基礎看護」：生徒一人ひとりにタブレットを配布し、デジタルコンテンツを用いたe-ラーニングを実施する。

2) 「病院・企業との連携による授業の開発」

○ねらい

確かな知識・技術をもち、それらを統合させた看護実践ができる生徒を育成するために、病院・企業等の外部リソースと教育現場との新たな連携の在り方を実現する。

○方法

- ①高校2年生「基礎看護」：医療安全の授業を感染管理認定看護師と連携し、実施する。
- ②高校3年生「成人看護」：緩和ケア・WOC認定看護師による授業を実施する。
- ③専攻科2年生「技術の統合」：災害看護の授業を看護師と連携し、実施する。
- ④専攻科1年生「技術の統合」：技術演習を臨床指導者と協働する。
- ⑤専攻科2年生「技術の統合」：最先端の医療機器とその原理、取り扱いについて企業と連携し実施する。

(3) 「科学的思考・判断力」を育てる取組

○ねらい

高度化する医療に対応しうる看護実践能力と研究能力を備えた人材の育成を目指して、高校1年生から実験的要素を含んだ授業を展開し、5年間の学年進行とともに、より高度な科

学的・論理的な問題解決思考を育てる。意欲の高い生徒については、看護学の構築・発展に寄与しうるレベルの研究能力の育成を目指す。

○方法

- ①高校1年生「基礎看護」における実験的な学習経験
- ②高校1年生「人体と看護（微生物編）」に関連した実験的な学習経験
- ③高校2年生「基礎看護」における実験的な学習経験
- ④高校2年生「人体と看護（栄養編）」における科学的なデータ収集方法の学習
- ⑤高校2年生「看護情報活用」における文献検索・データ処理・統計処理の基礎の学習
- ⑥看護サークル：研究的視点を取り入れた活動
- ⑦専攻科1年：「看護研究とその方法」に関する講義を依頼する。
- ⑧専攻科2年：「看護研究」に取組ませる。

(4) 「生涯学び続ける力」を育てる取組

○ねらい

看護教育において注目されているプロジェクト学習（PBL:Project-Based Learning）を5年間の体系化されたプロジェクトとすることで、生徒が自らの力で課題を発見し、戦略的に課題を解決し、コンピテンシーを高め、「豊かな人間性」「確かな知識・技術」「高度な思考・判断力」の3つの力を統合して、「生涯学び続ける力」を育成することをねらいとする。

○方法

①プロジェクト学習

プロジェクト学習の第一人者である鈴木敏恵先生をスーパーバイザーに迎え、高校1年生のプロジェクト学習をスタートとして5年間のプロジェクト学習の体系化を図る。該当学年の通年の指導のほか、教員研修を同時に行う。

5. 実施体制

この研究への取組は、看護科教員だけでなく、普通科の教員を含めた全教員が、「豊かな人間性」「確かな知識・技術」「科学的な思考・判断」「生涯学び続ける力」の4つのいずれかの研究に携わり、社会の要請に応えられる専門職の育成を目指して連携し、評価・修正しながら研究を進めていく。

(1) 研究担当者

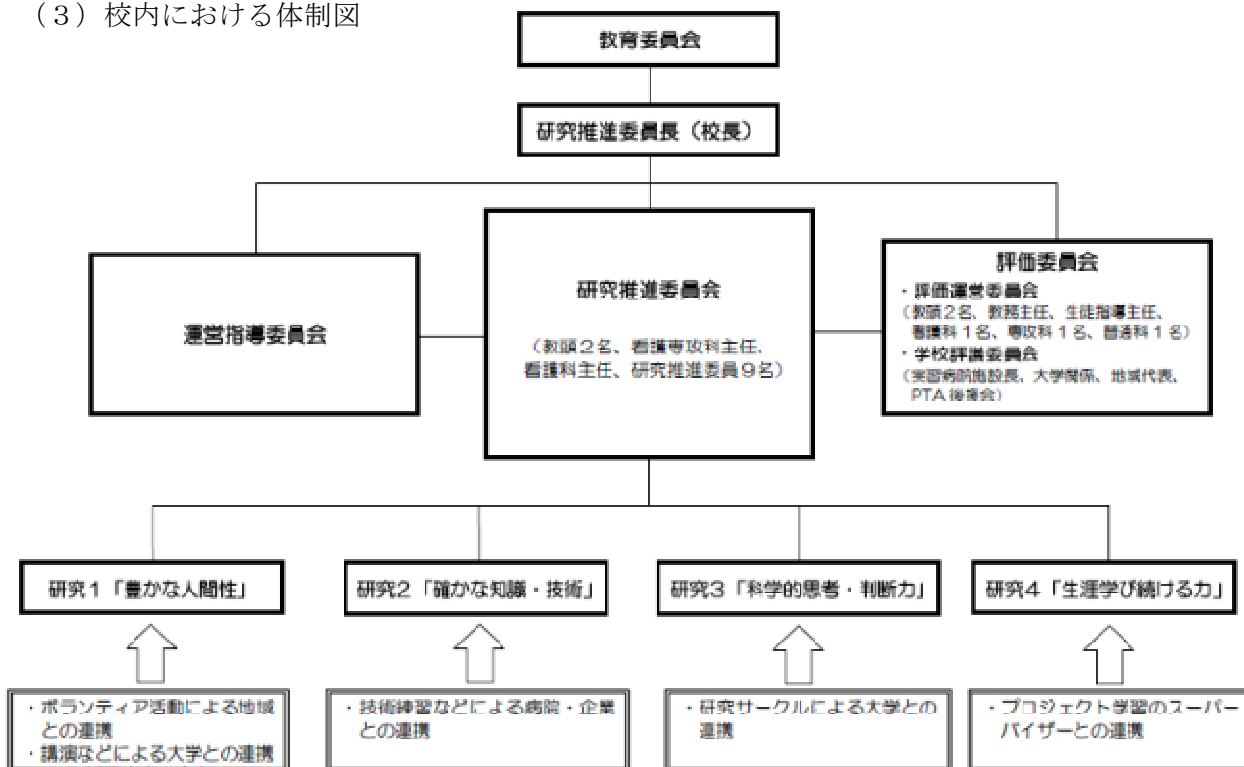
氏名	職名（担当教科）	役割分担
大川 尚子	主幹教諭（看護）	確かな知識・技術
柴山 佳子	教諭（国語）	科学的思考・判断力
田尻 茂樹	教諭（地歴公民）	豊かな人間性
宇田川 健	教諭（数学）	科学的思考・判断力
守屋 典子	教諭（理科）	科学的思考・判断力
沼田 和己	教諭（理科）	科学的思考・判断力
清水 宏一	教諭（保健体育）	豊かな人間性
庄子 学	教諭（英語）	生涯学び続ける力

氏名	職名（担当教科）	役割分担
長濱 はるみ	教諭（看護）	確かな知識・技術
榎本 聖子	教諭（看護）	科学的思考・判断力
織田 千香子	教諭（看護）	生涯学び続ける力
川口 有理	教諭（看護）	科学的思考・判断力
高木 邦子	教諭（看護）	科学的思考・判断力
三津橋 佳子	教諭（看護）	確かな知識・技術
守屋 有紀	教諭（看護）	豊かな人間性
大貫 由美子	教諭（看護）	生涯学び続ける力
大塚 御幸	教諭（看護）	生涯学び続ける力
大塚 真弓	教諭（看護）	豊かな人間性
佐々木 あゆみ	教諭（看護）	確かな知識・技術
高橋 千尋	教諭（看護）	確かな知識・技術
藤井 敦子	教諭（看護）	豊かな人間性
油目 久美子	教諭（看護）	確かな知識・技術
川畑 清美	教諭（看護）	豊かな人間性
柴田 江美子	教諭（看護）	豊かな人間性
伊藤 玲子	教諭（看護）	生涯学び続ける力
伊藤 栄子	教諭（看護）	科学的思考・判断力
村田 ひろみ	教諭（看護）	豊かな人間性
安藤 志津子	教諭（看護）	科学的思考・判断力
小平 栄子	教諭（看護）	豊かな人間性
黒川 章子	教諭（看護）	確かな知識・技術
井筒 路子	教諭（看護）	生涯学び続ける力
古場 真理子	教諭（看護）	豊かな人間性
川田 礼子	教諭（看護）	生涯学び続ける力
松尾 直美	教諭（看護）	確かな知識・技術
中澤 瑞果	教諭（看護）	確かな知識・技術
新井 真裕美	教諭（看護）	生涯学び続ける力
松村 理恵	助教諭（看護）	確かな知識・技術
山下 実江	助教諭（看護）	生涯学び続ける力
工藤 千恵子	助教諭（看護）	生涯学び続ける力
門井 すみれ	助教諭（看護）	科学的思考・判断力
山崎 章子	養護教諭	豊かな人間性
千葉 尚子	実習教員	科学的思考・判断力
堤 映子	主任実習教員	確かな知識・技術
新井 久枝	主任実習教員	科学的思考・判断力
宍戸 佳子	主任司書	豊かな人間性

(2) 研究推進委員会

氏名	職名(教科)	役割、分掌等
秋山 淳	教頭	
缸 秀年	教頭	
三津橋 佳子	教諭(看護)	「確かな知識・技術」研究班チーフ、研究推進委員副事務局長、看護科主任
柴田 江美子	教諭(看護)	専攻科主任
清水 宏一	教諭(保健体育)	看護科1年学年主任
山崎 章子	養護教諭	「豊かな人間性」研究班チーフ
守屋 有紀	教諭(看護)	研究推進委員事務局長
榎本 聖子	教諭(看護)	「科学的思考・判断力」研究班チーフ、看護科2学年主任
織田 千香子	教諭(看護)	「生涯学び続ける力」研究班チーフ
大川 尚子	教諭(看護)	「記録・広報」チーフ、看護科3学年係
高木 邦子	教諭(看護)	教務主任
大貫 由美子	教諭(看護)	看護科1学年係
大塚 御幸	教諭(看護)	看護科2学年係
佐々木 あゆみ	教諭(看護)	記録・広報
古場 真理子	教諭(看護)	専攻科2学年係
中澤 瑞果	教諭(看護)	記録・広報、専攻科1学年係

(3) 校内における体制図



6. 研究内容別実施時期

研究内容		実施時期											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
豊かな人間性	高1	倫理に関する活動(通年)											講演会
	高2	倫理に関する活動(通年)											講演会
	高3			被災地ボランティア					接遇講演会				
	専1			被災地ボランティア									生命倫理授業
	専2									他業種講演会			
確かな知識・技術	高1	e-ラーニング活用授業(通年)											
	高2							病院との連携 (医療安全)					
	高3									病院との連携 (緩和ケア)			
	専1							病院との連携 (実技演習)	病院との連携				
	専2							病院との連携(DMAT災害看護)				企業との連携 (ME機器講義)	
科学的思考・判断力	高1	実験的要素を含んだ授業(文献検索の基礎) 通年											
	高2	実験的要素を含んだ授業(研究方法・統計処理の基礎・看護サークル) 通年											大学との連携 (実験・講義)
	高3	実験的要素を含んだ授業(通年)											
	専1							大学との連携 (サイエンスアカデミー)	統計学講義・看護研究講義・ケースレポート				
	専2	看護研究											
生涯学び続ける力	高1	第1回プロジェクト学習 プロジェクト学習導入											
	高2	生徒オリエンテーション① 教員研修①	第2回プロジェクト学習 生徒オリエンテーション②										
	高3	テーマ・ゴール設定	教員研修② 制作	第3回プロジェクト学習 生徒オリエンテーション③								第4回プロジェクト学習 生徒オリエンテーション④	
	専1			教員研修③ プレゼンテーション 再構築								教員研修④ プレゼンテーション	
	専2										成長確認		

7. この事業に関連して補助金等を受けた実績

なし

補助金等の名称	交付者	交付額	交付年度	業務項目

8. 知的財産権の帰属

※ いずれかに○を付すこと。なお、1. を選択する場合、契約締結時に所定様式の提出が必要となるので留意のこと。

() 1. 知的財産権は受託者に帰属することを希望する。

(○) 2. 知的財産権は全て文部科学省に譲渡する。

9. 再委託に関する事項

再委託業務の有無 有 ・ (無)

※有の場合、別紙様式7に詳細を記載のこと。

II 委託事業経費

別紙様式4に記載

III 事業連絡窓口等

別紙様式6に記載